

平成26年度文部科学省  
「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成」事業

## 国際基準評価で質保証される実践臨床実習 平成26年度 活動概要



東京女子医科大学

事業責任者・学長

吉岡俊正

事業推進担当者・臨床実習コーディネーター

村崎かがり

### 事業の概要(1)

#### ① 臨床実習体制の整備

内科系外科系臨床実習担当教員のワークショップを開催し、教育アウトカム、学内指導体制、実習における学生の役割、学生の診療行為参画・診療録記録、評価の理念を共有し、診療参加型、診療問題解決型の臨床実習を行なう体制を整える。

#### ② 世界標準で質保証された教育の実践

新カリキュラムと医学部教育について行った世界医学教育連盟グローバルスタンダードに基づく自己点検評価を基に、国際的な医科大学認証評価専門家による外部評価、実地調査(国際的分野別認証評価者会議)の開催により、グローバルスタンダードへの適合を明らかにし、更なる教育改善への示唆を受けることにより世界標準で質保証された教育を行なう。

## 事業の概要(2)

### ③教育に関わる学内外の統一による教育の実践

学部教育アウトカムに臨床実習に関わる目標、医師としての基本的コンピテンシーを定め、目標を達成するための教育方法、評価方法、教育に関わる学内外の診療部門、診療施設の統一された教育実践を運営する。統一的運営のために、臨床実習コーディネーターを設置し、コーディネーターを中心に各科連携、合同FD、地域実習を行う。

### ④実践臨床実習とその評価法の構築と実践

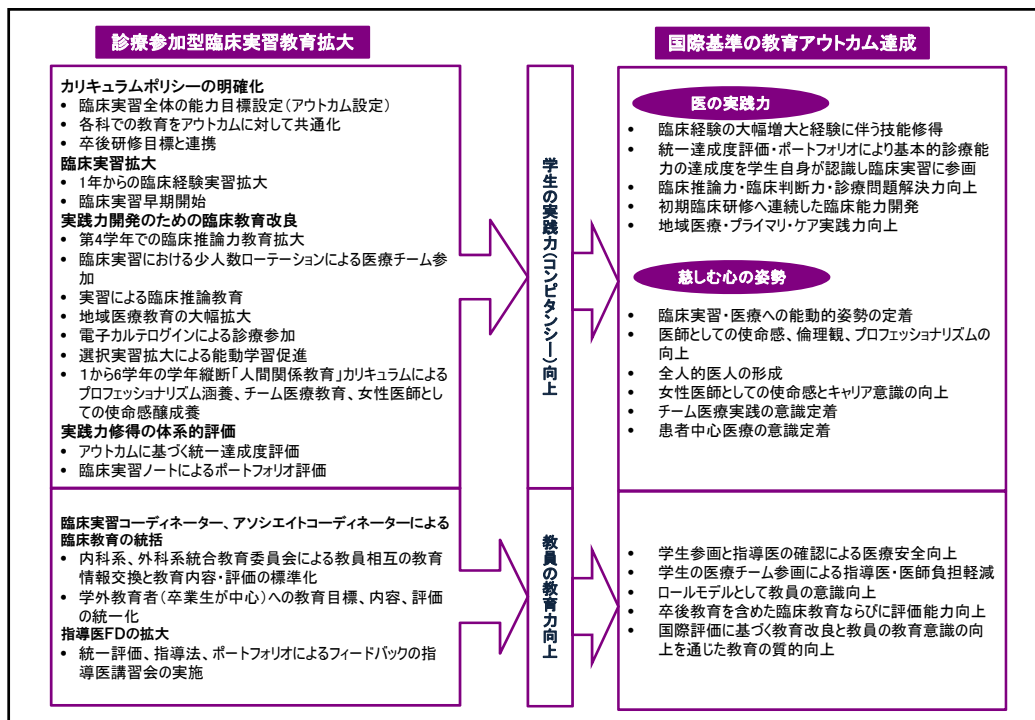
診療参加型臨床実習と診療問題解決型臨床実習を構築し実践する。  
臨床実習評価として、臨床実習ノート(e-Portfolio)、短時間臨床技能評価法(mini-CEX)、Advanced OSCEの評価を行い、教育改善を行う。

### ⑤地域実習の実践

第3学年での地域医療研修(3日間)実施。第5学年で長期間実施。

### ⑥国際交流協定校への学生海外派遣の実践

第5学年で国際交流協定校への学生海外派遣を行い、国際的医療の臨床教育を実施する。



## 事業計画の実施

年度	主な取り組み
平成24年度	平成24年10月、5カ国6名の外部評価者を招聘し、世界医学教育連盟グローバルスタンダードに基づく国際外部評価受審。 本外部評価の結果はインターネット上公開し、外部評価の実施記録を冊子として作成、公開。 グローバルスタンダードに基づく自己点検評価を基にしたカリキュラムのさらなる検討 第4学年臨床実習(平成26年度開始)に向け、セグメント8教育委員会を設置 第5学年臨床実習(平成27年度開始)統括のため、セグメント9教育委員会を設置 学生用電子カルテ端末、学生用院内PHSの購入 国際交流協定校への学生派遣と受け入れ(継続中)
平成25年度	第4学年臨床実習(平成26年度開始)である、臨床基礎実習カリキュラムの完成 第5学年臨床実習(平成27年度開始)カリキュラムの検討と作成 臨床実習コーディネーターの選任とアソシエイトコーディネーターの選任 問題発見解決能力の評価を意識したMCQ形式の試験の実施。 臨床実習ログブック機能をweb上で整備。 e-Portfolioとなる臨床実習ノートの開発
平成26年度	臨床実習コーディネーターらによる臨床実習担当教員のワークショップとFDの開催 e-Portfolioである臨床実習ノート(β版)の稼働開始。 臨床実習ノート(α版)開発 Advanced OSCEでは、症例プレゼンテーションの評価項目を新たに追加し、学生の臨床における総合的能力測定。 地域医療実習カリキュラムを作成、全国に100カ所を越える医療施設を実習施設に認定。
平成27年度	臨床実習コーディネーターらによる臨床実習担当教員のワークショップとFDの開催 臨床実習ノート(α版)の稼働開始。臨床実習ポートフォリオ評価を開始。 地域実習実施 e-Portfolioの導入、Advanced OSCE、mini-CEXと実施とフィードバック 第5学年での国外研修参加者選抜法の変更
平成28年度	臨床実践力を卒業時の教育アウトカムとする臨床実習体制の整備と維持を目指すワークショップの開催 セグメント8および9(第4学年後期および第5、6学年前期)での臨床教育の教育企画、実践、評価 診療参加型、診療問題解決型臨床実習の実践と臨床実習のe-Portfolioを用いた学生の臨床能力評価の推移の評価

## 国際基準評価で質保証される 実践臨床実習カリキュラム

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
4年次	セグメント8											
H26年						講義	学内 試験	診療の基礎			内科外科各科実習	
						TBL テュートリアル	臨床基礎実習			CBT OSCE		

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
5年次	セグメント9 (一部を除き、4週間毎の診療参加型臨床実習を実施)												
H27年	地域 実習					夏期 休暇					統合 試験		

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
6年次	セグメント9					夏期 休暇	セグメント10					
H28年	地域 実習					卒業試験	補講					

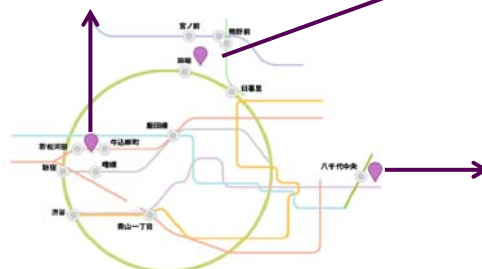
## 東京女子医科大学 診療参加型臨床実習を実施する教育病院



東京女子医科大学病院



東京女子医科大学東医療センター



東京女子医科大学附属八千代医療センター

## 臨床実習FDの実施と成果

- 屋根瓦士式教育スキルアップのため、後期研修医からのFDを実施。
- FDは平成26年度は3回各3時間実施、計180人が参加し、教員に広く臨床実習カリキュラムの意義、内容、評価法を周知した。
- 内科必修、外科必修では、診療科毎に教育内容が偏らないよう、指導医が集まり、臨床実習ノートデータから学習内容を振り返り確認し、教育内容の標準化を進め、S9カリキュラムの改善につながった。
- 病院毎の教育内容に偏りが無いよう、指導医が集まり、内科、外科のカリキュラム改善を参考にし、病院毎の特色は生かしながら、教育内容の標準化を進め新たなS9カリキュラムを作成した。

## e-Portfolioとしての臨床実習ノート

- 従来筆記式の手帳であった臨床実習ノートを参考に、学内LANで記載、参照できるログブックを作成。
- ログブックをさらに発展させe-Portfolioとしての臨床実習ノートを開発、稼働。
  - 各科での実習のログブック、チェックリスト
  - 学習内容の記録と指導医からのフィードバック
  - レポートの提出、保存、閲覧
  - 評価表

## e-Portfolioとしての臨床実習ノート

The screenshot shows a web application interface for an e-Portfolio. At the top, there is a navigation bar with the following elements from left to right: a logo for 'CAMPUS AVENUE 東京女子医科大学 教員用ページ', a set of icons for '臨床実習 講義登録', '学籍依頼 (学籍制変更) (呼出・実行)', '学籍依頼 教育履歴', 'e-Portfolio Webメール', and a 'ログアウト' button. Below the navigation bar, the main content area is a light purple color and contains several buttons for user actions: '臨床実習ノートの照会・承認', '臨床実習ノートの照会 (責任者)', '臨床実習履修項目チェックリスト (照会)', '達成目標と評価と評価表の入力・照会', and '指導教員 (指導医) と学生とのリンク登録'. The top right of the main area shows the user's name '村崎 かがりさん' and the date '2015年 09月 18日(金)'. The bottom left corner has a 'ポータルトップへ' link.

## e-Portfolioとしての臨床実習ノート(例)

### 学生のノート記載とレポート提出

臨床実習ノートの入力 (詳細) ※印刷以上送信すると自動ログアウトされますので、ごまめにご確認して下さい。

所属科名

実習開始の月  実習開始の日

実習終了の月  実習終了の日

実習生名

実習生名(フリガナ)

実習生名(ローマ字)

実習生名(カナ)

レポート提出

臨床実習ノート印刷

### 教員のフィードバックコメント記載

教員名

コメント

臨床実習ノート印刷

## e-Portfolioとしての臨床実習ノート (チェックリスト)

臨床実習履修項目チェックリストの照会画面 ※必須入力です。

時間割年度  年度

学籍番号   医学部  5年生

大項目

中項目	小項目	水準	見学日	実習日
1) 全身的診察	視診	水準1	2015/05/12	2015/06/12
	打診	水準1	2015/05/12	
	聴診	水準1	2015/05/19	2015/06/01
	触診	水準1	2015/04/17	2015/04/17
	脈拍	水準1	2015/04/22	2015/04/22
	打鐘器	水準1	2015/04/11	2015/04/11
	遠隔(肛門)視診	水準1	2015/04/25	
2) 耳鏡、鼻鏡、検眼鏡による診察	耳鏡	水準1		
	鼻鏡	水準1		
3) 産科的診察	検眼鏡	水準1		
	内診	水準1		
4) その他	その他			
	腫瘍(体表)	水準1	2015/04/11	2015/04/11
	瘻管(体表)	水準1		

1. 診察  1) 全身的診察  視診

見学日  2015/05/12  実習日  2015/06/12

その他の項目

## e-Portfolioとしての臨床実習ノート(評価)

### 実習評価

※得点以上超過すると自動ログアウトされますので、こまめに一時保存して下さい

1. 出席の評価  全日程に出席した。 ※欠席(早退・離脱)などがあった。

出席理由	欠席(日)	早退(日)	離脱(日)
正当な理由あり			1
無効			

2. 知識・臨床技能・診療業務の習得、学習状況

評価基準 5:十分に優れている、4:優れている、3:普通、2:少しはできる、1:まだまだこれから

項目	評価	評点
1.基礎知識の量と理解度 知識の量と理解度	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1	
2.病歴聴取	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1	
3.身体診察	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1	
4.診療録記載	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1	
5.症例のプレゼンテーション	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1	
6.臨床推論	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1	
7.態度	<input type="radio"/> 未 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1	

教員からのフィードバックコメント

コメント欄: [コメント入力欄]

コメント欄: [コメント入力欄]

## 臨床実習ノートの成果

### e-Portfolioの効果

- 学生は実習を記録し、可視化することにより、自分の不足している知識や技能について自覚し、自己学習を深化させることができる。
- 教員は、診療科横断的な記録を見ることにより、個々の学生に対し必要な知識や技能を適切に提供できる。
- 学生、教員ともに実習を記録しデータベース化することができる。
- 臨床実習ノートに学生が記載した内容から、問題点を抽出、検討を加え、実習プログラムの改善を実施した。

## Advanced OSCE評価法の改定 以下の項目を評価に追加

通常の評価項目に加え

- 診断について
  - 必要な手技が正しく身についているか
  - 蓋然性の高い疾患を適切にあげることができるか
  - 侵襲度、患者の苦痛、費用対効果を考えたか
- 患者への説明について
  - 適切な言葉遣い、専門用語を避け、相手の理解度の確認や苦痛にも配慮したか
  - 検査のやり方、伴う侵襲について説明を行おうとしたか
  - 費用についても説明しようとしたか
- 上級医への報告(上申)について
  - 簡潔かつ正確、十分な内容であったか
  - 鑑別診断を意識し、症状・所見を述べているか

今後新カリキュラムで学んだ学生との評価結果の比較を実施予定。

## 地域実習の実施と成果

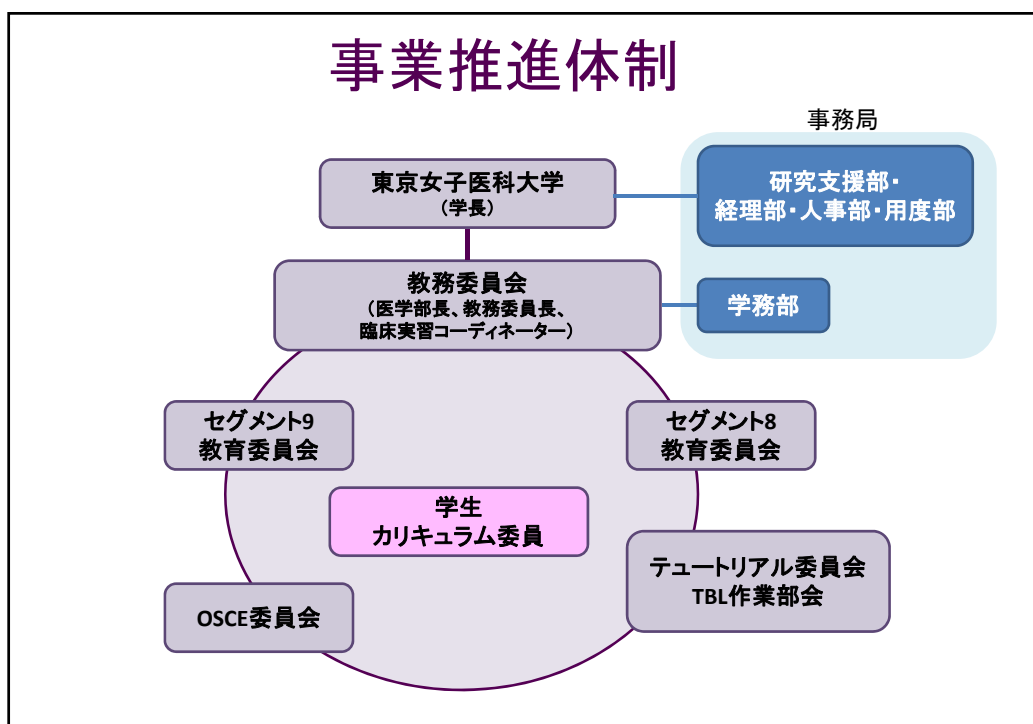
- 5年生全員を対象とした必修の実習であり、2週間継続して実施した。
- 地域実習受け入れ病院として認定した医療施設から、学生が希望により選択した計76施設で実施した。
- 学生による地域実習レポートをまとめた地域実習報告を作成し刊行した。
- 指導医の評価コメントでは、本学学生が積極的に実習に参加しており、総合評価は全学生平均4.47(5点満点)と高い評価を受けた。



## 国際交流協定校への学生派遣と受け入れ

大学名	1 カーディフ大学 (旧ウェールズ医科大学)	2 ブリュッセル自由大学	3 ハワイ大学	4 上海交通大学医学院 (旧上海第二医科大学)	5 コロンビア大学	6 テキサス大学 (メモリアルハーマン病院)	7 中国医科大学	8 マルセイユ大学	9 梨花女子大学	10 マウントサイナイ医科大学	11 ブラウン大学	12 オデッサ医科大学	13 台北医学大学	14 ハジエテヘ大学	
国名	英国	ベルギー	米国	中国	米国	米国	中国	フランス	韓国	米国	米国	ウクライナ	台湾	トルコ	
協定締結年度	1997	1999	2002	2002	2003	2003	2004	2005	2007	2008	2010	2012	2013	2013	
派遣学生数															派遣学生数合計
2011年度	5	3	1	1	2	1	2	2	3	2	1				23
2012年度	4	5	0	2	2	1	2	3	1	1					22
2013年度	5	3	1	2	2	1	0	0	0	2	1		2		19
2014年度	5	5	0	2	2	2	0	3	2	4	1	0	2	0	28
受入学生数															受入学生数合計
2011年度	0	5	1	2	0		2	2	0		0				12
2012年度	3	5	0	2	0		2	3	0		1				16
2013年度	6	5	0	2	2	0	2	3	2	3	0	2	2		29
2014年度	0	5	0	2	1	0	2	3	0	4	3	0	2	2	24

## 事業推進体制



## 今後の課題

- 臨床実習をさらに拡大したカリキュラムの詳細検討
- 学外での教育担当医療施設との連携強化
- 現在の臨床実習カリキュラムでの学生のコンピテンシーの評価

など